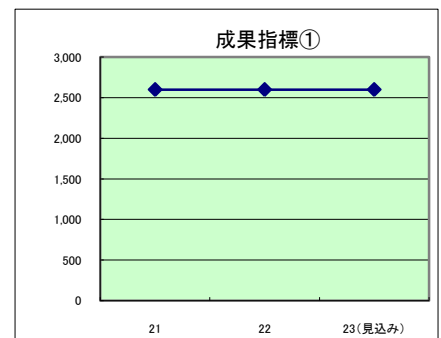
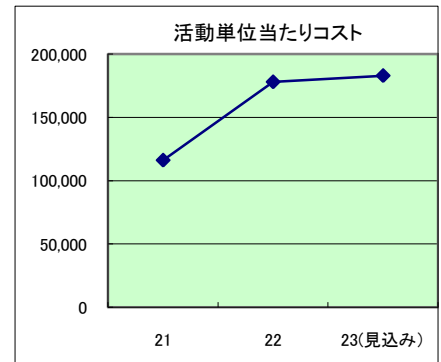


事務事業名	菊花展開催事業		会計	1	一般会計	
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	1	安全・安心、快適で住みやすいまち	款	8	土木費
	施策(節)	10	公園・緑地・緑化	項	4	都市計画費
	施策の方向	(1)	緑地の保全と緑化の推進	目	3	公園費
				事業	1	緑化推進
関連する計画等			作成部署	土木部みどり公園課		
事業の目的	対象(誰を・何を)		連絡先	072 - 958 - 1111 内線 2420		
	市民					
	意図(どういう状態にしたいのか)		菊花鑑賞を通じて多くの市民に潤いを与え、心豊かな街づくりに努める。			
事業の内容	陵南の森において大阪菊花会と協力し、会員が栽培した菊花を出展できる場を設け、約1ヶ月に渡り約800鉢を展示。					
根拠法令等						
事業開始時期	☐ 昭和 6 年開始	☐ 明確にはわからない	終了年度	平成	年度	
	☒ 平成	☐ 市制施行(昭和34年)以前より行っている				
事業開始時からの状況変化						
市民や議会の要望						
実施手法	☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 補助金・助成金 ☐ その他()					
委託先	☐ 市外郭団体委託 名称()		委託内容			
	☐ 民間委託 ☐ その他					

区 分		21年度	22年度	23年度
		(実績)	(実績)	(見込み)
事業費【1】 (千円)		580	580	708
人件費【2】 (千円)		2,325	4,050	4,050
職員数	正規職員	0.31 人	0.55 人	0.55 人
	再任用職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	嘱託職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	臨時職員	0.00 人	0.05 人	0.05 人
	超過勤務(参考) (時間)	0.04 時間	0.04 時間	0.04 時間
総事業費 (【1】 + 【2】) 【A】 (千円)		2,905	4,630	4,758
財源内訳	国費 (千円)			
	府費 (千円)			
	市債 (千円)			
	その他 (手数料・使用料等) (千円)			
	一般財源 (千円)	2,905	4,630	4,758
活動指標(事業の活動実績)【B】 単位		21年度	22年度	23年度(見込み)
① 展示日数	日	25	26	26
②				
③				
活動単位当たりコスト(【A】／【B】①)		116,200 円	178,077 円	183,000 円
市民1人当たりコスト(【A】／人口)		24 円	39 円	40 円



成果指標 (事業目的の達成度を測る指標)	指標名		単位	指標設定の考え方		平成21年度		平成22年度		平成23年度	
	①	鑑賞者数	人	展示期間中に訪れた鑑賞者数	目標	2,600	2,600	達成率(%)	2,600		
		(式) 鑑賞者人数÷目標鑑賞者数×100			実績	2,600	2,600	100.0%			
	②	(式)			目標			達成率(%)			
					実績						

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性	分析・評価の説明
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある	有	菊花鑑賞を通じて多くの市民に潤いを与え、心豊かな街づくりを目指すには市の関与が必要である。

分析・評価	視点	分析のためのチェック点	はい	いいえ	該当なし	分析・評価の説明
	妥当性	市民ニーズが高い	☒	☐	☐	菊花展の開催を楽しみにしている市民が多く、羽曳野市の秋の風物として定着している妥当な事業である。
		市民ニーズに比較してサービスの供給過剰となっていない	☒	☐	☐	
		社会情勢の変化に対応している	☒	☐	☐	
		他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない	☒	☐	☐	
		国・府の事業と重複していない	☒	☐	☐	
		事業を休止、廃止した場合の影響度が大きい	☒	☐	☐	
		緊急性が認められる	☐	☒	☐	
	効率性	単位コストが適切である(経年、他市比較など)	☒	☐	☐	会員の平均年齢が60歳を超えており、展示台の組立や解体に手間と時間がかかるため、委託など運営方法を検討する。
		受益者負担の割合は適当である	☐	☐	☒	
		人員を削減する余地がない	☒	☐	☐	
		事業費を削減する余地がない	☒	☐	☐	
		簡略化できる方法や手段がない	☐	☒	☐	
		市の他事業と重複していない	☒	☐	☐	
		民間活力(民間委託、NPO、ボランティア、PFIなど)の活用について検討の余地がない	☐	☒	☐	
	有効性	上位の施策(目的)が明確である	☒	☐	☐	緑化意識向上に有効であり、潤いや心豊かさを実感できる機会の創出に貢献している。
		上位の施策(目的)への貢献度が高い事業である	☒	☐	☐	
		成果を向上させる余地がない	☒	☐	☐	
		市民の視点にたってサービスが提供されている	☒	☐	☐	
	協働性	事業の企画、立案に市民が参加している	☒	☐	☐	市民団体である大阪菊花会を母体として市民と共同開催しており、会員の積極的な参加が得られている。
		事業の実施に向けて、市民と情報の共有が図られている	☒	☐	☐	
		事業の実施について積極的に市民の意見を反映している	☒	☐	☐	
		事業の実施に市民の参加、協力が得られている	☒	☐	☐	
	達成度	成果指標の目標値は適正である	☒	☐	☐	目標とする鑑賞者数を達成している。
		成果指標の実績値は目標値以上である	☒	☐	☐	
		成果指標は前年度より向上している	☒	☐	☐	

担当 部局 評価	総合評価	
	☐ 拡大・充実 ☐ 現状維持 ☐ 方法改善 ☒ 民営化・民間委託 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ 完了	
	評価の理由	
	近隣の菊花展と比べて出品数、規模も大きく来場者からも好評である。その反面、準備片付けに要する人員確保が課題である。 今後に向けて(取組方針、具体的な改善改革案など) 会員の高齢化もあり、ブースの組立解体の委託など効率的な運営方法を検討する。	
	行 革 本 部 評 価	

総合評価	評価理由・意見
☒ 拡大・充実 ☐ 現状維持 ☐ 方法改善 ☐ 民営化・民間委託 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ 完了	